



津波の被害を受けた山元町において、新しい地域農産物（トマト）のブランド化を進めるとともに、農業塾や後継者育成、地元の雇用の場を創出する取り組みで、復興に尽力する「スルーエイジ農園」。町内で農業の6次産業化を目指して取り組んでいます。今回は、千石信夫理事と横野壮俊専務理事にお話を伺いました。

●スルーエイジ農園を設立した経緯を教えてください。

山元町は、震災後の人口流出が際立っていました。少しでも人口流出に歯止めをかけるため、後継者の育成や就労支援等を踏まえた交流拠点をつくりたいという考えがあり、その一つの方法が農業ということでした。生涯現役を目指し活動できるよう「スルーエイジ（世代を超えて）」という願いをこめて農園を立ち上げたのが始まりです。



収穫したイタリアントマト



ブランド化したトマトジュース

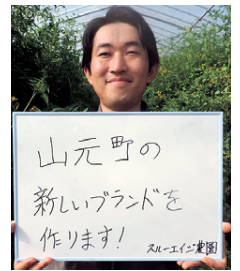
●現在の取り組み内容について教えてください。

津波で浸水した約20アールの農地を除塩し、露地とビニールハウスで、7種類のイタリアントマトなどの生産・加工・販売を行っています。また「このゆびとまと」というブランドのトマトジュースを開発しました。就労支援の目的で、障がい者自身にも時折農園の手伝いを担っていただいています。

●今後の事業展開と抱負について教えてください。

今後は農園を拡張し、農業塾やレストラン、貸し農園を一体的に運営する「山元観光農園」をつくる構想があります。このような取り組みをきっかけに、山元町がより元気になればと思います。

スルーエイジ農園「山元観光農園」イメージ図



横野専務理事

問 企業組合スルーエイジ農園 <http://suru-age.com/>
☎022-344-6852（仙台事務所）

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

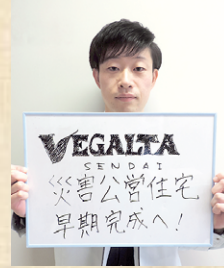
応援職員紹介コーナー Vol.26



氏名 鈴木 清施（スズキ キヨノブ）
派遣元 秋田県
所属 復興住宅整備室

「大曲の花火」や「横手のかまくら」そしてローカルヒーローの先駆けとなった「超神ネイガー」が有名な秋田県から派遣され、今年度で派遣2年目となりました。宮城県では、石巻市の災害公営住宅に係る現場監督の業務に携わっています。

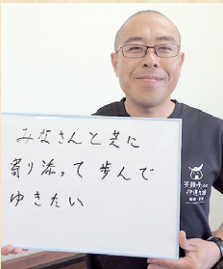
石巻には雄勝（オガツ）という地名がありますが、秋田県にも小野小町で有名な雄勝（オガチ）という地域もあり、2つの場所は国道398号で繋がっています。私も「縁」や「絆」を大切に仕事に励んでいきたいと思っています。



氏名 高木 敦史（タカギ アツシ）
派遣元 秋田県
所属 復興住宅整備室

乳頭温泉や竿燈まつり、美人の国で有名な秋田県から派遣されています。昨年度から宮城県に派遣され、今年で派遣2年目となりました。スポーツ観戦が好きなので、野球やサッカーのプロスポーツが身近にあることが宮城県の魅力だと思います。

宮城県では巨理町の災害公営住宅の整備を担当しています。担当している公営住宅は設計から業務に携わっていますので、とても思い入れのある現場です。任期が満了する頃に完成することから、遅れることのないよう、業務を推進していきます。



氏名 土屋 和隆（ツチャ カスタカ）
派遣元 徳島県
所属 気仙沼土木事務所

平成24年度から徳島県より派遣されています。徳島県はワカメが有名で、震災のときは徳島県から宮城県へワカメの種を送ったという話もあります。

休日は、気仙沼でお神輿をかつぐ団体に所属し、夏祭り期間にはほぼ毎週お神輿をかついでいました。

宮城県では、気仙沼の大島と唐桑の海岸防潮堤の整備を担当しています。ここで、多くの応援職員さんたちとつながることができたのは、一生の財産です。様々な方々と協力しながら、少しでも前に進めるよう、仕事をしていきたいと思っています。



氏名 中村 祥子（ナカムラ ショウコ）
派遣元 千葉県
所属 雇用対策課

千葉県といえば、大粒で甘い落花生のほか、ゆるキャラの活躍により、みずみずしく甘い梨が全国的に有名になりました。震災後宮城県に来るのは3回目です。最初は千葉県の保健師と一緒に石巻の仮設住宅を訪問し、2回目は宮城県庁でみなし仮設の業務に携わっていました。3回目の今回は、県内の事業主に助成金を支給し、雇用を創出する事業に携わっています。派遣先は応援職員が多く、派遣元や職歴・年齢も様々であることから私自身学ぶことが多いです。職員同士で切磋琢磨しながら、復興の一助になればと思います。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまでアクセス数が100万件を超えました。

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukusuip@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2014年10月23日 木曜日掲載

笑って笑ってもっと元気に!
小学校で落語の授業 (東松島市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/10/blog-post_23.html

「笑う門には福来る。今後も東北に福を運びたい」。東松島市立鳴瀬桜華小学校で、上方落語の桂かい枝師匠と江戸落語の三遊亭兼好師匠による「落語の授業」が行われました。高座に笑い転げた後は、落語のさまざまな仕草を教えてもらいました。



2014年10月24日 金曜日掲載

「認知症」への理解を深め
住みやすい町へ (気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/10/blog-post_29.html

地域の人が認知症に対して理解を深め、患者と家族のサポートができる人を育てるために活動している「日本の福祉を考える気仙沼若手の会 (JFK)」。

これまで、気仙沼地域に約1100人の「認知症サポーター」が誕生させました。



2014年11月3日 月曜日掲載

優しさと強さのメッセージ『Songs from Singapore to Tohoku2014』@ゆりあげ港朝市 (名取市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/11/songs-from-singapore-to-tohoku2014.html

「音楽のチカラで、被災地の皆さんを元気づけたい」。シンガポール国内でさまざまな被災地支援活動を行っているシンガーソングライターのSachiyo (サチヨ) さんが、ゆりあげ港朝市のステージで歌いました。



2014年11月4日 火曜日掲載

塩竈を支える、ラジオの力 (塩竈市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/11/blog-post_74.html

「100Wもありません。それだけあればラジオが再開できる」。震災から2日目の13日18時40分。市から提供された電源を使い、コミュニティFM「ベイウエーブ」は新たに放送局「しおがまさいがいFM」として放送を開始しました。



みやぎ復興住宅モデルプランを展示します

県では、県内の住宅関係団体等で「みやぎ復興住宅整備推進会議」を組織し、住宅再建を推進するとともに先進的で魅力あるみやぎの住宅・まちづくりのために知恵を絞っています。

今回、その会議メンバーの工務店や設計会社が、被災した方々の一日も早い住宅再建に役立てられるよう「みやぎ復興住宅モデルプラン」の提案を行いました。下記のとおり県庁内で展示しますので、県庁に訪れる際はぜひご覧ください。なお、住宅課のホームページでも公開しています。

📅平成26年12月15日(月)～12月19日(金)

📍宮城県庁1階 ロビー

📞県住宅課 ☎022-211-3256

http://www.pref.miyagi.jp/site/miyagi-sumai/



facebook「みやぎ住まい復興プレス～うちへおいでよ～」
配信中!



「みやぎ発 復興企業だより」を発行しました

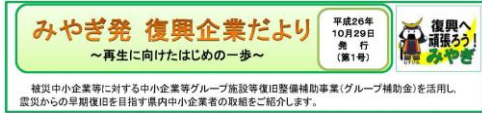
県では、中小企業等グループが作成し、県の認定を受けた復興事業計画に基づく施設の復旧整備等に要する経費の一部を補助する「グループ補助金」制度を活用し、被災した中小企業等の復旧復興を支援しています。

今回、事業成果の発信や復旧を目指す他グループ等の意欲向上を目指すことを目的に、共同事業に意欲的に取り組むグループ事例等を紹介した広報紙を作成しましたので、ご覧ください。

☎ 県企業復興支援室 ☎022-211-2765

※企業復興支援室のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kifuku/>



毎月第3水曜日は「みやぎ水産の日」です

宮城県は、世界三大漁場の一つである三陸・金華山沖漁場に恵まれ、豊富な魚介類や水産加工品が生産されてきました。

県では、震災により失われた販路の回復を図るため、毎月第3水曜日を「みやぎ水産の日」と定め、産地ならではの美味しい宮城の水産物を広くPRすることとしました。

県民の皆様には、古くから親しまれてきた宮城の海で獲れる魚介類・水産加工品を味わっていただくとともに、今後とも水産みやぎの一番の理解者として、また、宮城県産水産物のサポーターとしてご支援いただきますようお願いいたします。



☎ 県水産産業振興課 ☎ 022-211-2931

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/suishin/suisannohi.html>

復興 イベント情報

凡例 日 日時、期間 所 場所、会場 内 内容等 問 問い合わせ

ONE-LINE ～気仙沼クリスマスイルミネーションプロジェクト～ (気仙沼市)

東日本大震災で被災した気仙沼湾に光を灯すプロジェクトが、昨年度に引き続き開催されます。昨年度よりイルミネーションの全長が500メートル程延長、各施設でのイルミネーションの飾りつけもより艶やかになりますので、ご期待ください。

日 平成26年11月29日(土)～平成27年1月9日(金)

所 気仙沼内湾地区 点灯時間：18:00～22:00

問 ONE-LINE 実行委員会 ☎070-6486-3108

女川町イルミネーション「灯～TOMOSHIBI～」Part3 (女川町)

東日本大震災により真っ暗になってしまった女川の町にイルミネーション・クリスマスツリーやリースを飾り、女川の夜を温かく灯します。幻想的なイルミネーションに包まれて心もほっこり温まります。

日 平成26年12月15日(月)～平成27年1月15日(木)

所 女川町コンテナ村商店街、輝望の丘あすなろ通り (女川町地域医療センター敷地内)

問 女川町コンテナ村商店街 ☎0225-53-3348

サン・ファン・イルミネーションツリー2014 (石巻市)

サン・ファン・パウティスタの船体を約1万球の電飾とライトアップで幻想的に彩ります。

日 平成26年12月12日(金)～31日(水) 日没～20:00

所 サン・ファン館ドッグ棟

問 サン・ファン館 ☎0225-24-2210

伊里前福幸商店街オープン3周年記念イベント (南三陸町)

全国からのご支援・ご協力に感謝の3周年のイベントです。これからも未来に向かって歩み続けます。

日 平成26年12月7日(日) 10:00～16:00

(売り出しセールは6日・7日の2日間)

所 問 伊里前福幸商店街 ☎0226-36-2235

ゆりあげ港朝市「年末大売出し」(名取市)

早朝から採れたての野菜や新鮮な海の幸が並ぶ名取市ゆりあげ港朝市。年末の下記期間は連日営業します。

日 平成26年12月29日(月)～31日(水)

6:00～13:00 (初市は平成27年1月4日に開催)

所 問 ゆりあげ港朝市協同組合 ☎022-395-7211

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

編集後記

先日、10月に完成した多賀城市の「桜木公営住宅」を見てきました。桜木公営住宅は、津波で被災した地域に立地することに配慮して、2階以上に住戸を配置し、津波避難ビルの機能を持たせています。また、敷地内に保育所のほか、コミュニティスペースも設け、入居者が生活しやすい環境を整備しています。復興に向け、今後も県内各地で、恒久住宅の建設が進んでいきます。佐

多賀城市 桜木公営住宅



平成25年7月8日撮影

平成26年10月20日撮影

みやぎ復興プレス 第31号

【発行日】平成26年12月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局：震災復興推進課)

電話：022-211-2408 e-mail：fukusuif2@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/>

「震災・復興」

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>

